

▶ Commvault メール アーカイブ ソリューション

ハイライト

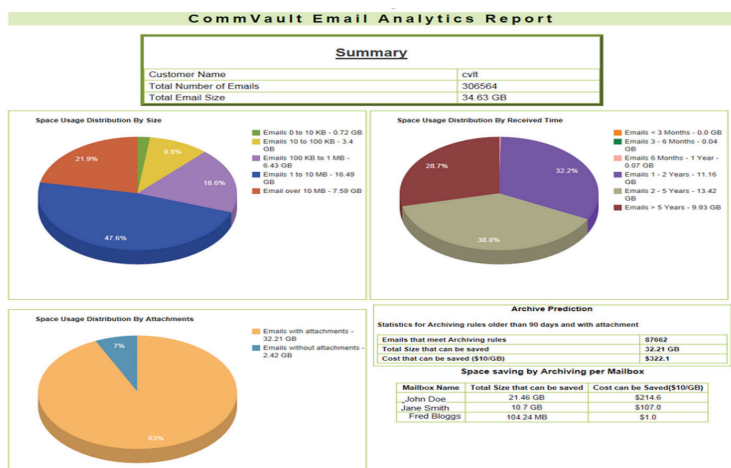
- **メール データ量の増大を管理** - 統合されたメール アナリティクスを使用して、アーカイブ可能なデータを識別できるようにし、効果的な削除を可能にする自動化されたファイル管理サイクルおよび削除ポリシーを提供します。「すべて保存しておく」という旧態依然の方法とは異なり、Commvault ソフトウェアではビジネスに重要なデータのみが保存されるため、保持コストが最大 70% 削減されます。¹
- **データ ガバナンス ポリシーの徹底** - 自動化された包括的なアプローチを使用して、企業データの保持とアクセスを行います。これには、法務チームが IT チームに負担をかけることなく、自分たちで収集、訴訟ホールド、審査のセルフサービスができるように、目的に特化した堅牢で直感的な検索機能が含まれています。
- **PST ファイルと NSF ファイルの管理機能を強化** - 既存の .PST ファイルと .NSF ファイルを自動的に見つけてアーカイブに移行し、これらのファイルに含まれる情報をあらかじめ制御すると共に、検索の合理化、ストレージ コストの削減、バックアップ時間の短縮、紛失または盗難にあったファイル関連のリスクの低減を実現します。
- **ヘルプデスクのチケット数の削減** - エンド ユーザーがアーカイブしたメールにシームレスにセルフサービスでアクセスできるようにして、IT の介入なしにメールの閲覧と回復が行えるようにします。

▶ 最新のメール アーカイブでコストとリスクを低減

テキスト メッセージやソーシャル メディアは人気がありますが、ビジネスでのコミュニケーションやコラボレーションにおいては依然としてメールが一番のツールと言えます。実際、IDC によると、ビジネスに不可欠な情報の 60% がメールに含まれていて、ときにはメールにしか含まれていない情報もあります。事業継続性と情報の入手可能性を確保するメール アーカイブ戦略を持つことの重要性は、これまで以上に大きくなっています。

Commvault の最新のメール アーカイブ ソリューションは、メール コンテンツをインテリジェントに保管、管理、検出してビジネス要件とコンプライアンス要件を満たすことによって、デジタル オフィス環境の新たなニーズに対応します。Commvault を使用すると、値段の高くないティア 2 ストレージ ハードウェアを活用して任意のデータを分類し、データ保持、削除、移行などの自動アーカイブ ポリシーを適用して、機密データの保護、低価値データの削除、全体的なストレージ コストの削減を実現できます。またこのソリューションでは、アーカイブされたデータにセルフサービスで簡単にアクセスして検索や検出が行えるため、生産性も向上します。

- ▶ Commvault の単一の統合データ管理プラットフォームは、Microsoft Office 365 のようなクラウド メール ソリューションを含む、どのようなメール環境でも詳細なアーカイブ ポリシーをサポートします。



メール アナリティクス レポート

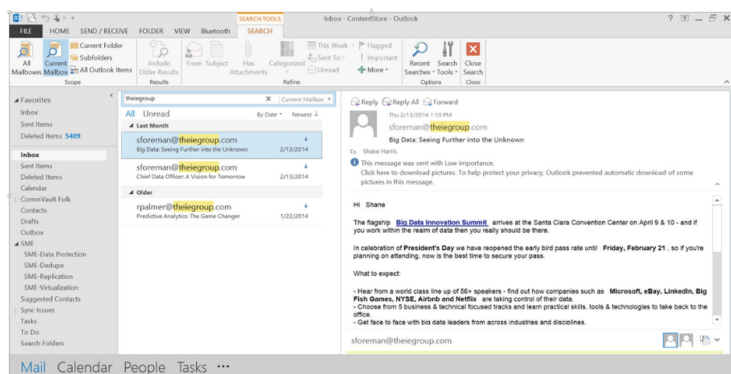
メール アーカイブ : バイヤーズ チェック リスト

メール環境の具体的なニーズを突き止めて、ビジネス目標の達成に最適なメール アーカイブソリューションを選択できるようにします。

今すぐ読む



commvau.lt/1TWYEmc



Outlook プラグインを使用したエンド ユーザー検索

主要機能

特長	メリット
アーカイブしたメールにエンドユーザーがオンライン / オフラインでアクセス	ネイティブの Outlook プラグイン、IMAP 対応メールビューア、または Commvault のモバイルアプリケーションを使用したモバイル デバイス経由で Microsoft Outlook と Lotus Notes のメール履歴にオンラインまたはオフラインで簡単にアクセスできるため、エンドユーザーの生産性が高まります。
検索、コンプライアンス、早期訴訟案件アセスメント業務の迅速化	Commvault の仮想ストレージ レポジトリから、単一プールのデータに対して全文インデックス化と検索を行うため、訴訟ホールド、コンプライアンス監査、調査業務の開示対象データの特定が迅速化されます。収集と訴訟ホールドのワークフロー自動化により、ESI 保存を確保するプロセスが簡略化されます。
Exchange のジャーナリング	送受信したすべてのメール メッセージのコピーを保管して、規制ポリシーまたは法的保持ポリシーに基づく保存を徹底させることができます。

特長	メリット
使いやすいポリシーとワークフローの自動化	基本タスク、カスタマイズ機能、コンテンツ属性に基づく自動保持や防衛的削除などの自動ワークフローのライブラリを用意して、IT 管理者の負担を軽減します。カスタマイズされたアラートやレポート、さらに予め用意されている各種レポートを使用して、実行中のすべてのジョブやイベントをリアルタイムで表示できます。
堅牢なデータ暗号化とアクセス制御	アーカイブされたメールのアクセス制御は、役割ベースであり、二要素認証がシングル サインオンが使用されます。送信時と保存時の SSL 暗号化には、AES、Blowfish、3DES、および Ghost が使用されます。アーカイブされたデータの暗号化には、FIPS 140-1 および 140-2 の認定を受けた Commvault の専用モジュールが使用されます。
単一インスタンス ストレージを使用して全体的なデータ フットプリントを削減	Commvault メール アーカイブを使用すると、プライマリ ストレージが最適化されるため、スペースと経費を節約できます。アーカイブされたメールは、データ量とアーカイブの総所有コストを削減するために、インデックスの付与、圧縮、重複排除が行われます。ファイルが既に 1 回アーカイブされている場合、Commvault は重複して保存する必要がないことを認識します。
スマートなストレージ階層化とバックアップ / アーカイブ スキャンの統合により、運用の総コストを引き下げ	データはサポート対象のストレージ デバイスを任意に組み合わせることで保管できるため、データを階層化し、時間の経過とともに、最適なストレージ媒体に経年データを移動、保管し、アーカイブされたデータのストレージ フットプリントを最小限に抑えることができます。バックアップおよびアーカイブプロセスをサポートする、プライマリデータリポジトリへの独自の単位スキャンにより、ストレージの運用効率が大幅に向上します。
Microsoft 0365 のサポート	Exchange を 0365 に移行しながら単一インデックスを維持することで、0365/Exchange およびオンプレミスのメール アーカイブだけでなく、Commvault で保護およびアーカイブされているその他の非構造化データ全体を検索できます。
事実上無制限のスケールビリティ	数百名のユーザーから数十万名ものユーザーへ、単一の場所から世界中の数百の場所まで、Commvault の俊敏性とウェブ規模のプラットフォームを使用することで簡単に拡張が行えます。
ライセンス オプション <ul style="list-style-type: none"> メール アーカイブ 検索アドオン 	メール アーカイブ、メール アナリティクス、メタデータ検索。メールボックス単位。高度なコンテンツベースの検索、訴訟ホールド。メールボックス単位。
展開オプション	オンプレミス、ハイブリッド クラウド。Commvault のクラウド サービスは、近日発売予定です。

▶ Commvault のメール アーカイブ ソリューションの詳細については、[commvault.com/email-archiving](https://www.commvault.com/email-archiving) をご覧ください。

© 2017 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「六角形の C」のロゴ、Commvault Systems、Commvault OnePass、CommServe、CommCell、IntelliSnap、Commvault Edge、および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービス マークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。

COMMVault 



▶ COMMVAULT SYSTEMS JAPAN 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎 2-1-1 THINKPARK TOWER 8F

WWW.COMMVault.COM | PHONE: 03-5747-9610 | JPSALES@COMMVault.COM

© 2017 COMMVAULT SYSTEMS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.